

(6) 1週間の就労日数, 就労時間 (問 13-1 (3), (4))

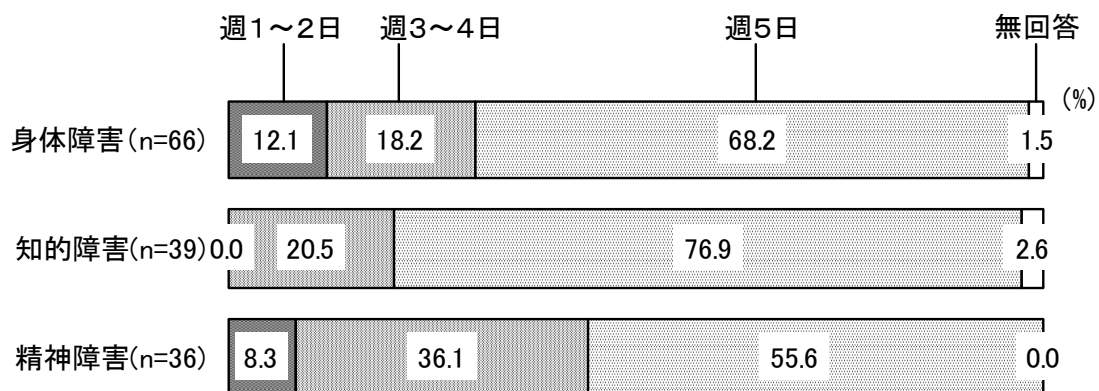
問 13-1 (3) 1週間の仕事の日数, 時間はどのくらいですか。(それぞれ1つに○)

問 13-1 で「正規社員」「非正規社員 (パート, アルバイト)」と回答した人に就労日数と時間をたずねた。就労日数は身体障害, 知的障害, 精神障害とも「週 5 日」が最も多く, それぞれ 68.2%, 76.9%, 55.6%となっている。

就労時間は, 身体障害では「40 時間以上 (42.4%)」が最も多く, 知的障害, 精神障害では「20 時間～40 時間未満」が最も多く, それぞれ 59.0%, 44.4%である。

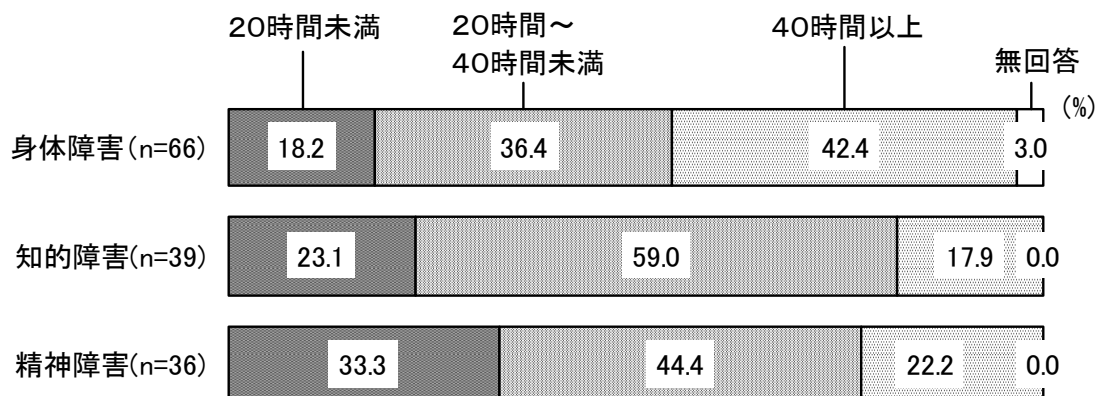
図表 3-39-① 1週間の就労日数 (全体)

<正規社員・非正規社員>



図表 3-39-② 1週間の就労時間 (全体)

<正規社員・非正規社員>



(7) 年収（問13-2）

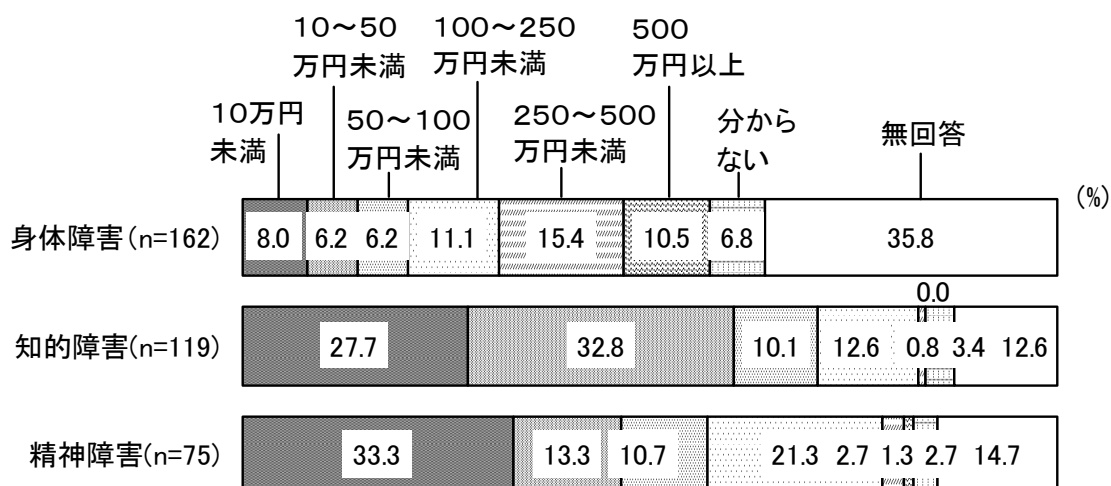
問13-2 仕事をしている方におたずねします。仕事による年間の収入（税，社会保険料などを引かれる前の額）はおおむねどのくらいですか。賞与がある場合は含めてください。（1つに○）

収入を伴う仕事をしていると回答した人に、年収をたずねた。身体障害は「250～500万円未満（15.4%）」が最も多く、「100～250万円未満（11.1%）」、「500万円以上（10.5%）」が続いている。

知的障害は「10～50万円未満（32.8%）」が最も多く、「10万円未満（27.7%）」と合わせると50万円未満は60.5%である。

精神障害は「10万円未満（33.3%）」が最も多く、「100～250万円未満（21.3%）」が続いている。

図表3-40 年収（全体）
 <収入を伴う仕事をしている人>



(8) 仕事をする上での不安（問 13-3）

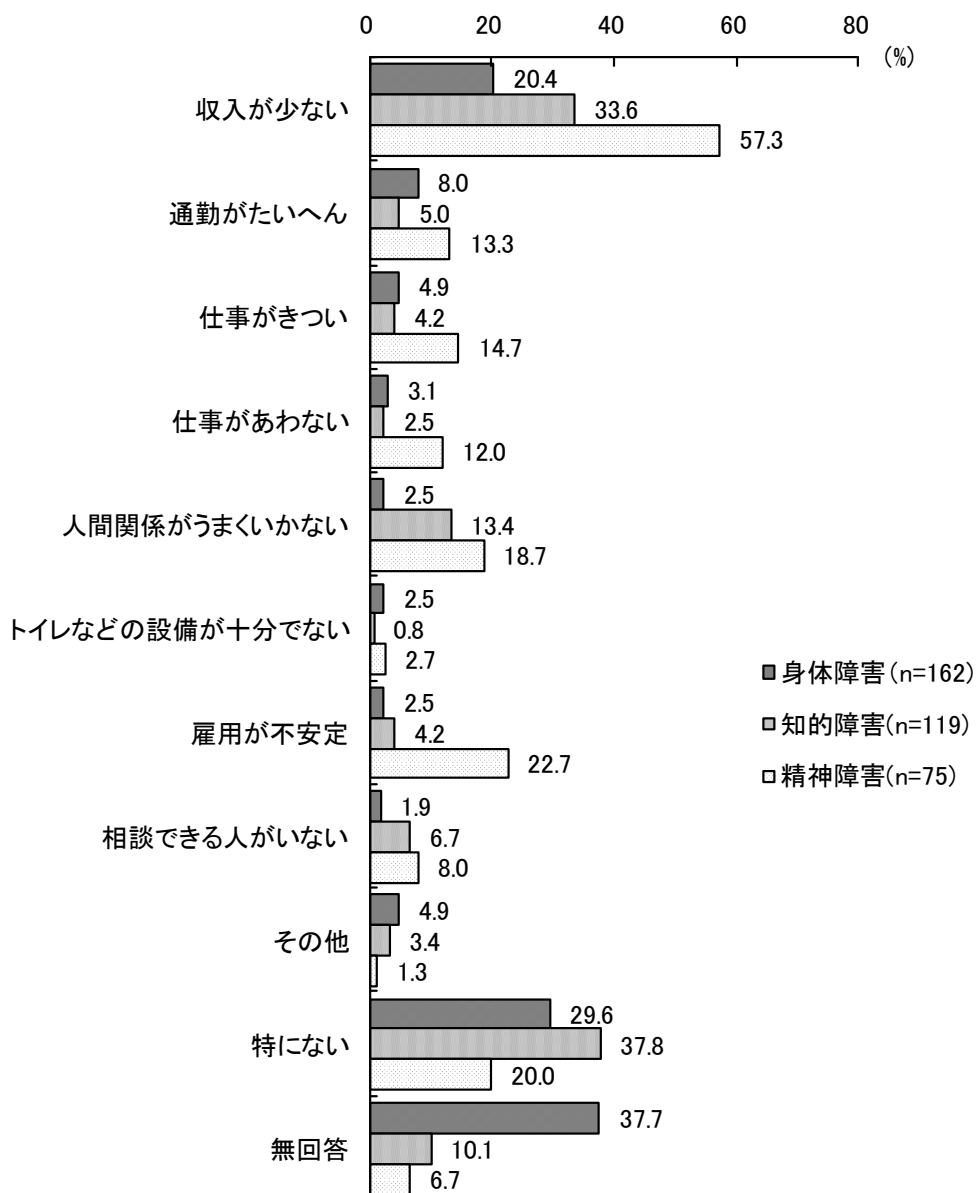
問 13-3 仕事をする上で不安がありますか。（いくつでも○）

収入を伴う仕事をしていると回答した人に、仕事をするうえでの不安をたずねた。身体障害、知的障害、精神障害ともに「収入が少ない」が最も多くなっているが、その割合は身体障害で 20.4%、知的障害で 33.6%、精神障害で 57.3%となっている。

その他に、身体障害は「通勤がたいへん（8.0%）」、知的障害は「人間関係がうまくいかない（13.4%）」、精神障害は「雇用が不安定（22.7%）」、「人間関係がうまくいかない（18.7%）」、が多くなっている。

図表 3-41 仕事をする上での不安（全体：複数回答）

<収入を伴う仕事をしている人>



(9) 仕事をしていない理由（問13-4）

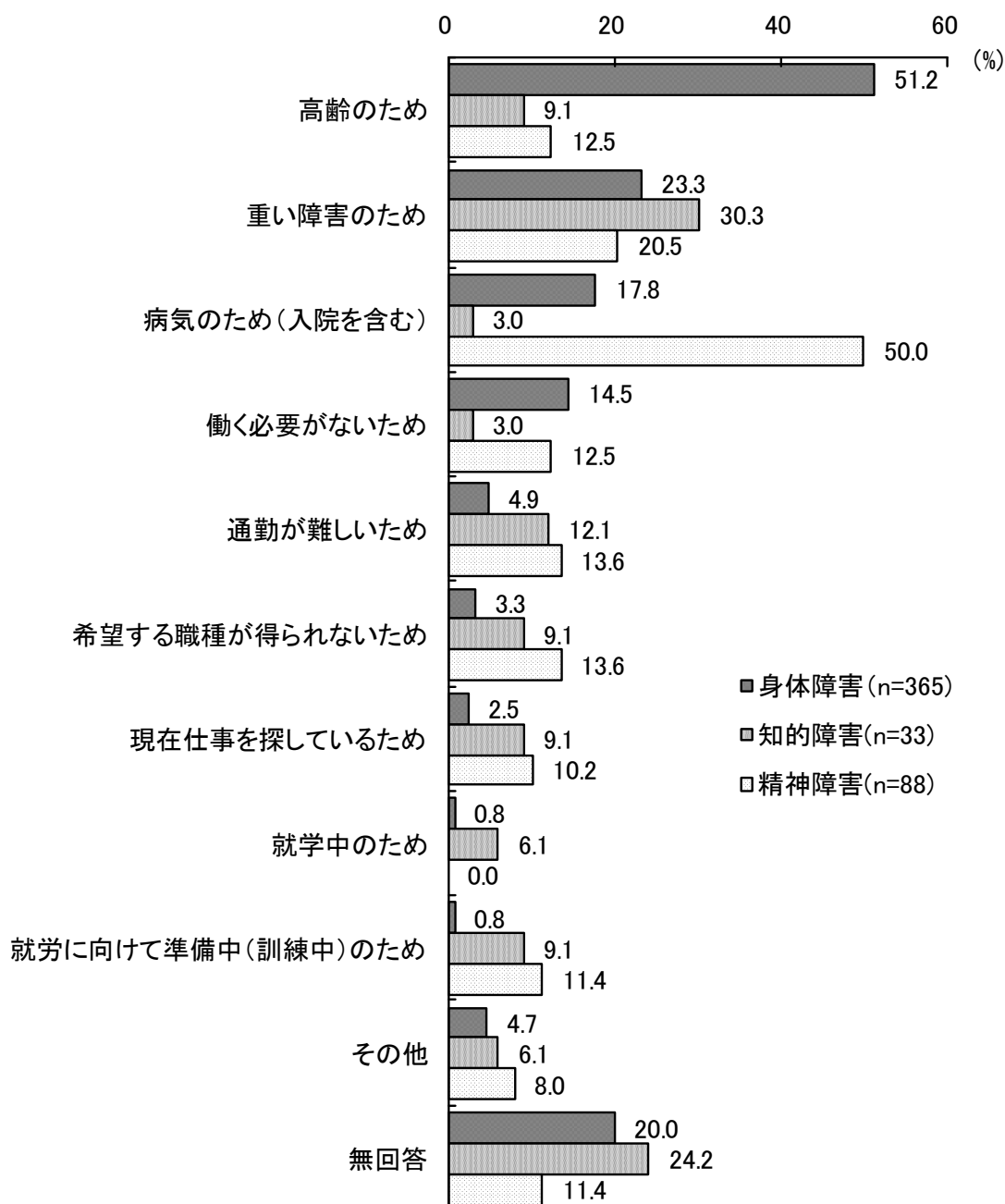
問13-4 問13で2, 3と答えた方におたずねします。

仕事をしていない理由は次のどれですか。（いくつでも○）

収入を伴う仕事をしていないと回答した人に、仕事をしていない理由をたずねた。身体障害では「高齢のため（51.2%）」が最も多い。知的障害では「重い障害のため（30.3%）」、精神障害では「病気のため（入院を含む）（50.0%）」が最も多い。

図表 3-42 仕事をしていない理由（全体：複数回答）

<収入を伴う仕事をしていない人>

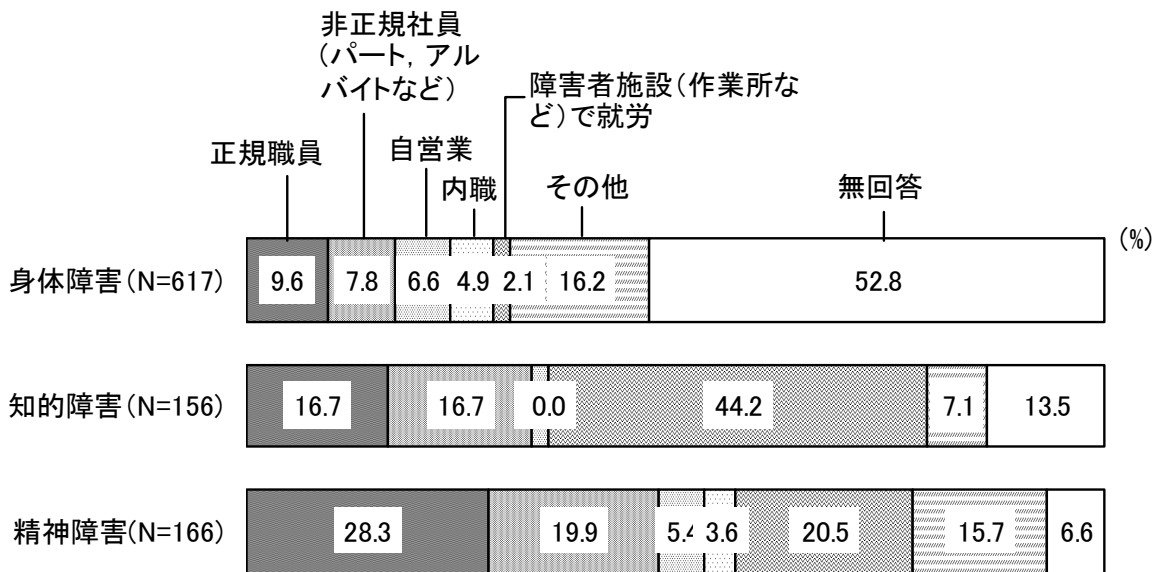


(10) 今後したい仕事 (問 14)

問 14 あなたは、今後どのような仕事がしたいですか。現在働いている場合は、これからも同じ仕事を続けたい場合も含まれます。(1つに○)

身体障害は「正規職員 (9.6%)」、知的障害は「障害者施設 (作業所など) で就労 (44.2%)」、精神障害は「正規職員 (28.3%)」が最も多い。

図表 3-43 今後したい仕事 (全体)



(11) 仕事をするために必要だと思うこと（問14-1）

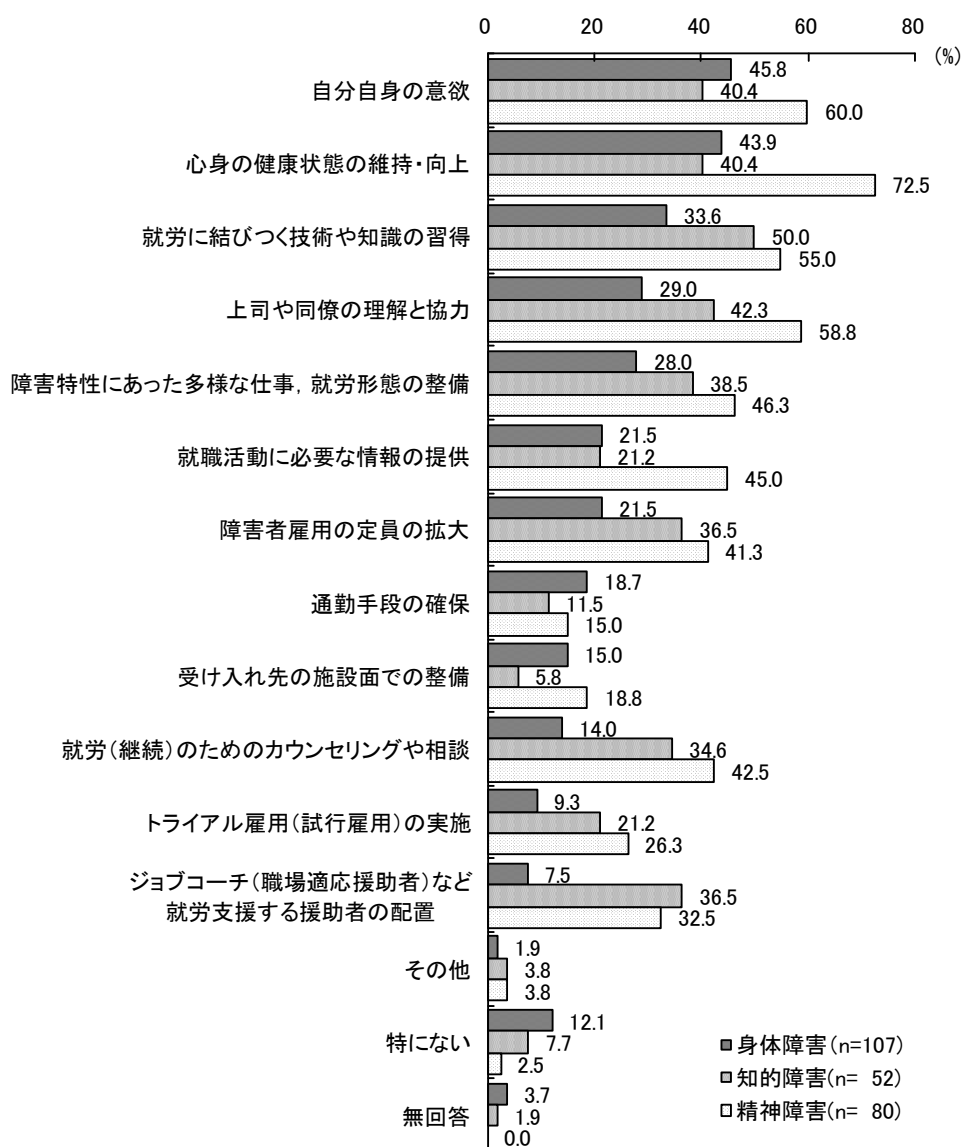
問14-1 問14で今後、正規職員や、非正規社員で働きたいと答えた方におたずねします。
 仕事をするために、あなたが必要と思うことは何ですか。（いくつでも○）

問14で今後、正規職員や非正規社員（パート・アルバイトなど）で働きたいと回答した人に、仕事をするために必要だと思うことをたずねた。身体障害は、「自分自身の意欲（45.8%）」が最も多く、「心身の健康状態の維持・向上（43.9%）」が続いている。

知的障害は、「就労に結びつく技術や知識の習得（50.0%）」が最も多く、「上司や同僚の理解と協力（42.3%）」が続いている。

精神障害は、「心身の健康状態の維持・向上（72.5%）」が最も多く、「自分自身の意欲（60.0%）」が続いている。

図表3-44 仕事をするために必要だと思うこと（全体：複数回答）
 <今後、正規職員や非正規社員で働きたい人と回答した人>



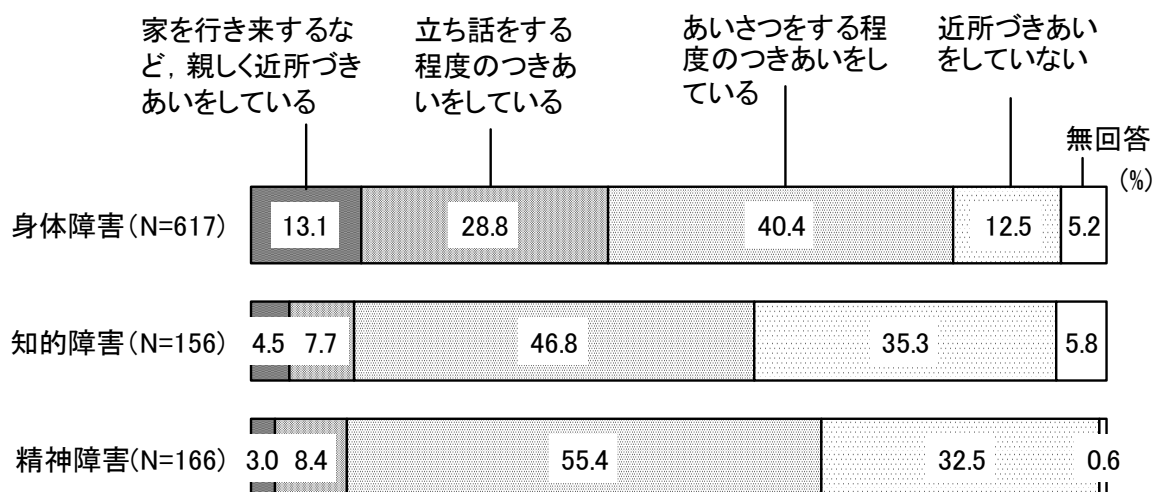
5 地域のつながり，地域活動への取組

(1) 近所づきあいの状況（問 15）

問 15 あなた（あて名のご本人）は，日ごろどのような近所づきあいをしていますか。
（1つに○）

日ごろの近所づきあいの状況は，身体障害，知的障害，精神障害ともに「あいさつをする程度のつきあいをしている」が最も多く，それぞれ 40.4%，46.8%，55.4% となっている。また，知的障害，精神障害では「近所づきあいをしていない」はそれぞれ 35.3%，32.5% となっている。

図表 3-45 近所づきあいの状況（全体）



身体障害

近所づきあいの状況については、全体では「あいさつをする程度のつきあいをしている（40.4%）」が最も多く、「立ち話をする程度のつきあいをしている（28.8%）」が続いている。

地域のつながり感別で差がみられ、感じる（「とても感じる」と「少し感じる」の合計）では「家を行き来するなど、親しき近所づきあいをしている」が20.8%、「立ち話をする程度のつきあいをしている」が38.7%であるが、感じない（「あまり感じない」と「感じない」の合計）では「あいさつをする程度のつきあいをしている」が53.2%、「近所づきあいをしていない」が22.8%となっている。

図表 3-46 近所づきあいの状況【身体障害】
（全体、居住地域別、障害の程度別、地域のつながり感別）

			あど家 い、を を親 しし てく い近 る所 づな き	つ立 きち あ話 いを をす しる て程 度い るの	るの あ つ い き あ つ い を す し る 程 度 い	い近 所 づ き あ い を し て	無 回 答
全	体	(N=617)	13.1	28.8	40.4	12.5	5.2
居住 地域 別	第1地域	(n=36)	33.3	52.8	2.8	5.6	5.6
	第2地域	(n=88)	36.4	47.7	8.0	3.4	4.5
	第3地域	(n=51)	35.3	45.1	9.8	3.9	5.9
	第4地域	(n=31)	29.0	54.8	9.7	3.2	3.2
	第5地域	(n=24)	37.5	54.2	4.2	4.2	0.0
	第6地域	(n=61)	39.3	52.5	1.6	3.3	3.3
	第7地域	(n=126)	38.1	50.0	4.0	3.2	4.8
	第8地域	(n=68)	38.2	44.1	7.4	5.9	4.4
	第9地域	(n=52)	36.5	53.8	7.7	0.0	1.9
	第10地域	(n=59)	27.1	61.0	3.4	0.0	8.5
障 害 の 程 度 別	1級	(n=202)	9.4	23.3	48.0	13.4	5.9
	2級	(n=71)	8.5	26.8	40.8	16.9	7.0
	3級	(n=92)	21.7	30.4	30.4	13.0	4.3
	4級	(n=157)	15.9	37.6	36.3	7.6	2.5
	5級	(n=24)	16.7	16.7	50.0	8.3	8.3
	6級	(n=29)	17.2	24.1	51.7	6.9	0.0
感 が つ 別 り な	感じる	(n=331)	20.8	38.7	33.2	4.8	2.4
	感じない	(n=250)	4.0	18.8	53.2	22.8	1.2

II アンケート調査の結果

知的障害

近所づきあいの状況については、全体では「あいさつをする程度のつきあいをしている（46.8%）」が最も多く、「近所づきあいをしていない（35.3%）」が続いている。

地域別でみると、第8地域で「近所づきあいをしていない」が56.3%と半数を超えている。

地域のつながり感別では、感じないで「近所づきあいをしていない」が60.6%となっている。

図表 3-47 近所づきあいの状況【知的障害】
（全体、居住地域別、障害の程度別、地域のつながり感別）

		(%)				
		あど家 い、を をし しく い近 る所 づ な き	つ立 きあ 話あ いを をす し る程 て い 度 の	るの あ つ い き さ あ つ い を す し る 程 度	い近 所 づ き あ い を し て	無 回 答
全	体 (N=156)	4.5	7.7	46.8	35.3	5.8
居 住 地 域 別	第1地域 (n=7)	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0
	第2地域 (n=24)	0.0	8.3	54.2	29.2	8.3
	第3地域 (n=9)	0.0	0.0	55.6	44.4	0.0
	第4地域 (n=11)	0.0	18.2	27.3	45.5	9.1
	第5地域 (n=10)	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	第6地域 (n=20)	10.0	5.0	55.0	20.0	10.0
	第7地域 (n=22)	9.1	4.5	31.8	40.9	13.6
	第8地域 (n=16)	6.3	6.3	31.3	56.3	0.0
	第9地域 (n=11)	0.0	0.0	63.6	36.4	0.0
	第10地域 (n=21)	9.5	14.3	42.9	28.6	4.8
障 害 別 の 程	1度 (n=5)	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	2度 (n=35)	2.9	8.6	37.1	37.1	14.3
	3度 (n=44)	2.3	4.5	52.3	40.9	0.0
	4度 (n=59)	8.5	11.9	50.8	23.7	5.1
感 が つ 別 り な	感じる (n=82)	8.5	13.4	58.5	17.1	2.4
	感じない (n=66)	0.0	1.5	36.4	60.6	1.5

精神障害

近所づきあいの状況については、全体では「あいさつをする程度のつきあいをしている（55.4%）」が最も多く、「近所づきあいをしていない（32.5%）」が続いている。

障害の程度別でみると、1級で「近所づきあいをしていない」が75.0%となっている。

地域のつながり感別では、感じるは「立ち話をする程度のつきあいをしている」が18.5%と感じないを16.5ポイント上回っている。また感じないは「近所づきあいをしていない」が42.6%となっている。

図表 3-48 近所づきあいの状況【精神障害】
（全体、居住地域別、障害の程度別、地域のつながり感別）

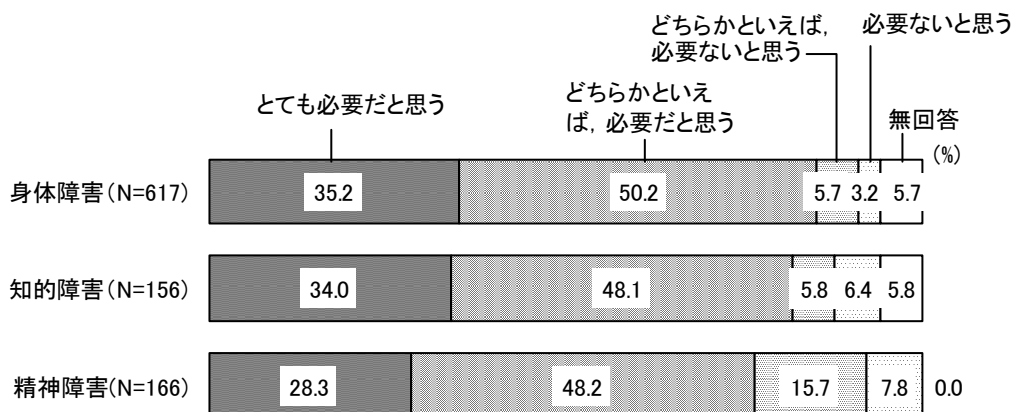
		あど家 い、を を親 しし てく い近 る所 づな き	つ立 きち あ話 いを をす しる 程 度 の	るの あ つ い き あ つ い を す る 程 度	い近 所 づ き あ い を し て	無 回 答
全 体 (N=166)		3.0	8.4	55.4	32.5	0.6
居 住 地 域 別	第1地域 (n=8)	0.0	0.0	62.5	37.5	0.0
	第2地域 (n=34)	0.0	8.8	52.9	38.2	0.0
	第3地域 (n=14)	0.0	0.0	42.9	50.0	7.1
	第4地域 (n=4)	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	第5地域 (n=7)	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0
	第6地域 (n=16)	6.3	0.0	62.5	31.3	0.0
	第7地域 (n=26)	3.8	23.1	46.2	26.9	0.0
	第8地域 (n=18)	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0
	第9地域 (n=13)	7.7	7.7	46.2	38.5	0.0
	第10地域 (n=17)	5.9	5.9	70.6	17.6	0.0
程 度 害 別 の	1級 (n=12)	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	2級 (n=82)	1.2	9.8	53.7	35.4	0.0
	3級 (n=43)	7.0	7.0	60.5	25.6	0.0
感 が つ 別 り な	感じる (n=14)	6.2	18.5	56.9	16.9	1.5
	感じない (n=34)	1.0	2.0	54.5	42.6	0.0

(2) 地域のつながりの必要性 (問 16)

問 16 あなたは、暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）は必要だと思いますか。（1つに〇）

地域のつながりの必要性は、「とても必要だと思う」と「どちらかといえば、必要だと思う」を合わせて《必要だと思う》は、身体障害では 85.4%、知的障害では 82.1%、精神障害では 76.5%である。

図表 3-49 地域のつながりの必要性（全体）



身体障害

地域のつながりの必要性については、全体では「どちらかといえば必要だと思う（50.2%）」がほぼ半数を占め、「とても必要だと思う（35.2%）」が続いている。年代別、家族構成別などでみても、「どちらかといえば必要だと思う」が最も多くなっている。

図表 3-50 地域のつながりの必要性【身体障害】
（全体、年齢別、年代別、家族構成別）

		とても必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要ないと思う	必要ないと思う	無回答
全 体 (N=617)		35.2	50.2	5.7	3.2	5.7
年 齢 別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=6)	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7
	30歳代 (n=14)	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0
	40歳代 (n=27)	14.8	44.4	33.3	7.4	0.0
	50歳代 (n=44)	11.4	52.3	25.0	6.8	4.5
	60歳代 (n=130)	16.2	33.8	31.5	13.8	4.6
	70歳代 (n=184)	17.9	38.6	26.1	12.0	5.4
	80歳代以上 (n=175)	17.7	38.3	26.9	11.4	5.7
別 年 代	65歳未満 (n=151)	11.9	37.7	34.4	11.9	4.0
	65歳以上 (n=431)	17.6	38.5	26.7	11.8	5.3
別 構 家 成 族	ひとり暮らし (n=125)	12.0	40.0	28.0	13.6	6.4
	その他 (n=477)	17.0	37.9	28.3	11.9	4.8

知的障害

地域のつながりの必要性については、全体では「どちらかといえば必要だと思う（48.1%）」がほぼ半数を占め、「とても必要だと思う（34.0%）」が続いている。

図表 3-51 地域のつながりの必要性【知的障害】

（全体，年齢別，年代別，家族構成別）

			とても必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要ないと思う	必要ないと思う	無回答
全 体		(N=156)	34.0	48.1	5.8	6.4	5.8
年 齢 別	10歳代	(n=5)	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	20歳代	(n=49)	40.8	51.0	4.1	0.0	4.1
	30歳代	(n=43)	27.9	55.8	2.3	9.3	4.7
	40歳代	(n=33)	33.3	39.4	9.1	9.1	9.1
	50歳代	(n=9)	11.1	55.6	11.1	11.1	11.1
	60歳代	(n=9)	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0
	70歳代	(n=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	80歳代以上	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満	(n=144)	34.7	47.9	4.9	6.9	5.6
	65歳以上	(n=7)	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n=11)	45.5	36.4	18.2	0.0	0.0
	その他	(n=143)	32.2	49.7	4.9	7.0	6.3

II アンケート調査の結果

精神障害

地域のつながりの必要性については、全体では「どちらかといえば必要だと思う (48.2%)」がほぼ半数を占め、「とても必要だと思う (28.3%)」が続いている。

年齢別では、60歳代で「とても必要だと思う」が38.1%で他の年代より高い割合となっている。また、家族構成別では、ひとり暮らしで「とても必要だと思う (36.5%)」の割合がその他 (21.4%) を15.1ポイント上回っている。

図表 3-52 地域のつながりの必要性【精神障害】

(全体, 年齢別, 年代別, 家族構成別)

		(%)				
		とても必要 だと思う	どちらか 必要だ と思う え	どちら 必要 ないか と思 う え	必要 ない と思 う	無 回 答
全	体 (N=166)	28.3	48.2	15.7	7.8	0.0
年 齢 別	10歳代 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=9)	11.1	88.9	0.0	0.0	0.0
	30歳代 (n=44)	22.7	52.3	18.2	6.8	0.0
	40歳代 (n=51)	29.4	41.2	15.7	13.7	0.0
	50歳代 (n=29)	27.6	51.7	17.2	3.4	0.0
	60歳代 (n=21)	38.1	42.9	9.5	9.5	0.0
	70歳代 (n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=145)	26.9	49.0	15.9	8.3	0.0
	65歳以上 (n=16)	25.0	56.3	12.5	6.3	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=63)	36.5	42.9	14.3	6.3	0.0
	その他 (n=98)	21.4	54.1	15.3	9.2	0.0

(3) 地域のつながりを感じる程度（問17）

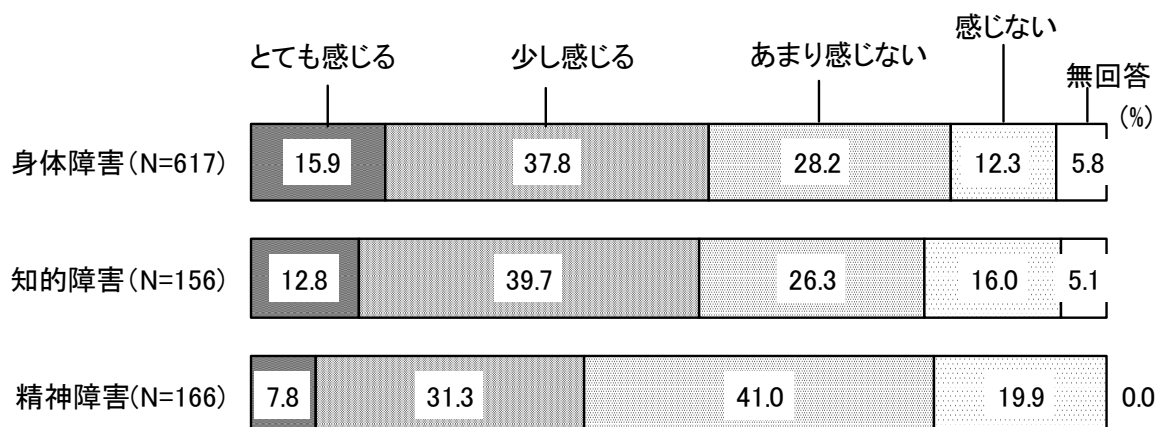
問17 あなたがお住まいの地域には、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）はあると感じますか。（1つに○）

地域のつながりを感じる程度は、身体障害は「とても感じる（15.9%）」と「少し感じる（37.8%）」を合わせて、《感じる》が53.7%である。

知的障害は、「とても感じる（12.8%）」と「少し感じる（39.7%）」を合わせて、《感じる》が52.5%である。

精神障害は、「とても感じる（7.8%）」と「少し感じる（31.3%）」を合わせて、《感じる》が39.1%であり、「あまり感じない（41.0%）」と「感じない（19.9%）」を合わせた《感じない》の60.9%を下回っている。

図表 3-53 地域のつながりを感じる程度（全体）



Ⅱ アンケート調査の結果

身体障害

地域のつながりを感じる程度については、全体では「少し感じる（37.8%）」が最も多く、「とても感じる（15.9%）」と合わせると53.7%が《感じる》との回答である。

居住地域別にみると、第4地域と第10地域で「とても感じる」の割合が低くなっている。

図表 3-54 地域のつながりを感じる程度【身体障害】

（全体、年齢別、年代別、居住地域別）

			とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	無回答
全 体		(N=617)	15.9	37.8	28.2	12.3	5.8
年 齢 別	10歳代	(n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20歳代	(n=6)	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7
	30歳代	(n=14)	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0
	40歳代	(n=27)	14.8	44.4	33.3	7.4	0.0
	50歳代	(n=44)	11.4	52.3	25.0	6.8	4.5
	60歳代	(n=130)	16.2	33.8	31.5	13.8	4.6
	70歳代	(n=184)	17.9	38.6	26.1	12.0	5.4
	80歳代以上	(n=175)	17.7	38.3	26.9	11.4	5.7
年 代 別	65歳未満	(n=151)	11.9	37.7	34.4	11.9	4.0
	65歳以上	(n=431)	17.6	38.5	26.7	11.8	5.3
居 住 地 域 別	第1地域	(n=36)	22.2	52.8	16.7	5.6	2.8
	第2地域	(n=88)	19.3	34.1	30.7	10.2	5.7
	第3地域	(n=51)	13.7	52.9	11.8	15.7	5.9
	第4地域	(n=31)	3.2	45.2	38.7	9.7	3.2
	第5地域	(n=24)	20.8	29.2	29.2	20.8	0.0
	第6地域	(n=61)	9.8	32.8	36.1	14.8	6.6
	第7地域	(n=126)	23.8	40.5	24.6	7.1	4.0
	第8地域	(n=68)	19.1	26.5	27.9	23.5	2.9
	第9地域	(n=52)	13.5	38.5	34.6	7.7	5.8
	第10地域	(n=59)	6.8	35.6	37.3	10.2	10.2

知的障害

地域のつながりを感じる程度については、全体では「少し感じる（39.7%）」が最も多く、「とても感じる（12.8%）」と合わせると52.5%が《感じる》との回答である。

居住地域別にみると、第2地域、第10地域で「とても感じる」が20%を超え高い割合となっている。

図表 3-55 地域のつながりを感じる程度【知的障害】

（全体、年齢別、年代別、居住地域別）

			とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	無回答
全 体 (N=156)			12.8	39.7	26.3	16.0	5.1
年 齢 別	10歳代 (n=5)		20.0	40.0	0.0	40.0	0.0
	20歳代 (n=49)		16.3	42.9	28.6	8.2	4.1
	30歳代 (n=43)		9.3	48.8	25.6	11.6	4.7
	40歳代 (n=33)		9.1	21.2	33.3	27.3	9.1
	50歳代 (n=9)		0.0	33.3	33.3	22.2	11.1
	60歳代 (n=9)		22.2	44.4	11.1	22.2	0.0
	70歳代 (n=3)		0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=0)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=144)		12.5	38.2	27.1	16.7	5.6
	65歳以上 (n=7)		0.0	71.4	28.6	0.0	0.0
居 住 地 域 別	第1地域 (n=7)		0.0	85.7	14.3	0.0	0.0
	第2地域 (n=24)		20.8	37.5	20.8	8.3	12.5
	第3地域 (n=9)		11.1	11.1	33.3	44.4	0.0
	第4地域 (n=11)		9.1	36.4	18.2	27.3	9.1
	第5地域 (n=10)		0.0	50.0	10.0	40.0	0.0
	第6地域 (n=20)		15.0	50.0	20.0	10.0	5.0
	第7地域 (n=22)		9.1	40.9	31.8	9.1	9.1
	第8地域 (n=16)		12.5	18.8	31.3	31.3	6.3
	第9地域 (n=11)		9.1	36.4	45.5	9.1	0.0
	第10地域 (n=21)		23.8	33.3	38.1	4.8	0.0

II アンケート調査の結果

精神障害

地域のつながりを感じる程度については、全体では「あまり感じない (41.0%)」が最も多く、「感じない (19.9%)」と合わせると 60.9%が《感じない》との回答である。

年齢別にみると、50歳代で「あまり感じない (55.2%)」が半数を超えている。

居住地域別にみると、第10地域で「あまり感じない (64.7%)」が他の地域に比べ高い割合となっている。

図表 3-56 地域のつながりを感じる程度【精神障害】

(全体, 年齢別, 年代別, 居住地域別)

			とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	無回答
全 体 (N=166)			7.8	31.3	41.0	19.9	0.0
年 齢 別	10歳代 (n=1)		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=9)		11.1	22.2	44.4	22.2	0.0
	30歳代 (n=44)		9.1	43.2	34.1	13.6	0.0
	40歳代 (n=51)		7.8	19.6	41.2	31.4	0.0
	50歳代 (n=29)		3.4	27.6	55.2	13.8	0.0
	60歳代 (n=21)		4.8	47.6	33.3	14.3	0.0
	70歳代 (n=5)		0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=1)		0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
別 年 代	65歳未満 (n=145)		6.9	31.7	41.4	20.0	0.0
	65歳以上 (n=16)		6.3	37.5	37.5	18.8	0.0
居 住 地 域 別	第1地域 (n=8)		0.0	37.5	25.0	37.5	0.0
	第2地域 (n=34)		8.8	41.2	38.2	11.8	0.0
	第3地域 (n=14)		0.0	14.3	35.7	50.0	0.0
	第4地域 (n=4)		25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	第5地域 (n=7)		0.0	42.9	28.6	28.6	0.0
	第6地域 (n=16)		18.8	12.5	37.5	31.3	0.0
	第7地域 (n=26)		7.7	38.5	34.6	19.2	0.0
	第8地域 (n=18)		11.1	33.3	44.4	11.1	0.0
	第9地域 (n=13)		7.7	30.8	53.8	7.7	0.0
	第10地域 (n=17)		0.0	23.5	64.7	11.8	0.0

(4) 地域活動・ボランティア活動の本人の状況と意向、要望（問18）

問18 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなた（あて名のご本人）がやっている、今後やりたい、またはあなた自身がしてもらいたい活動はありますか。特に該当するものがない場合は「4 該当なし」に○をつけてください。

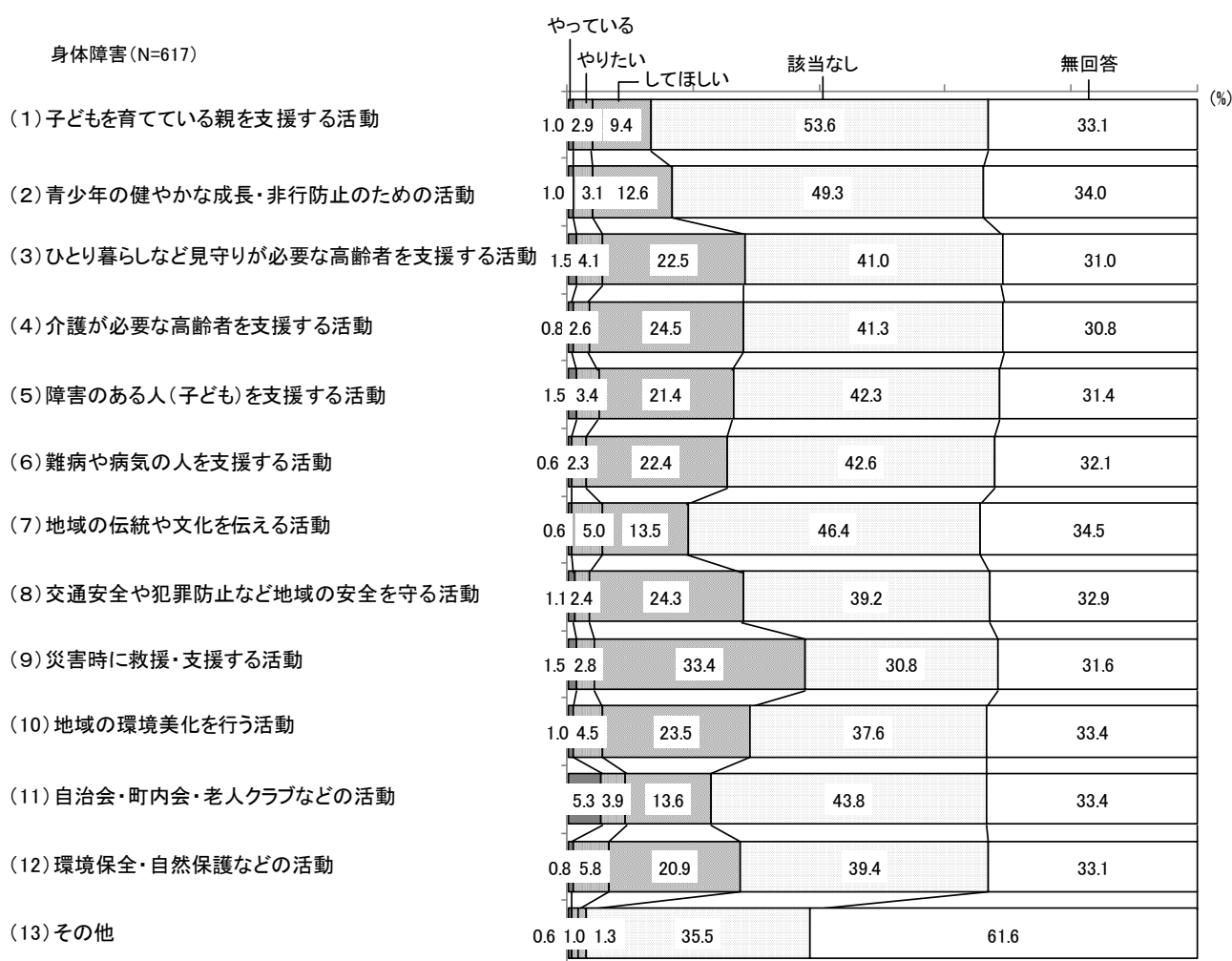
やっている、今後やりたい、してもらいたい地域活動・ボランティア活動についてたずねた。

「やっている活動」として最も多いのは、身体障害は『自治会・町内会・老人クラブなどの活動（5.3%）』、知的障害は『地域の環境美化を行う活動（3.2%）』、精神障害は『障害のある人（子ども）を支援する活動（2.4%）』である。

「やりたい活動」として最も多いのは、身体障害は『環境保全・自然保護などの活動（5.8%）』、知的障害は『地域の環境美化を行う活動（6.4%）』、精神障害は『環境保全・自然保護などの活動（13.9%）』である。

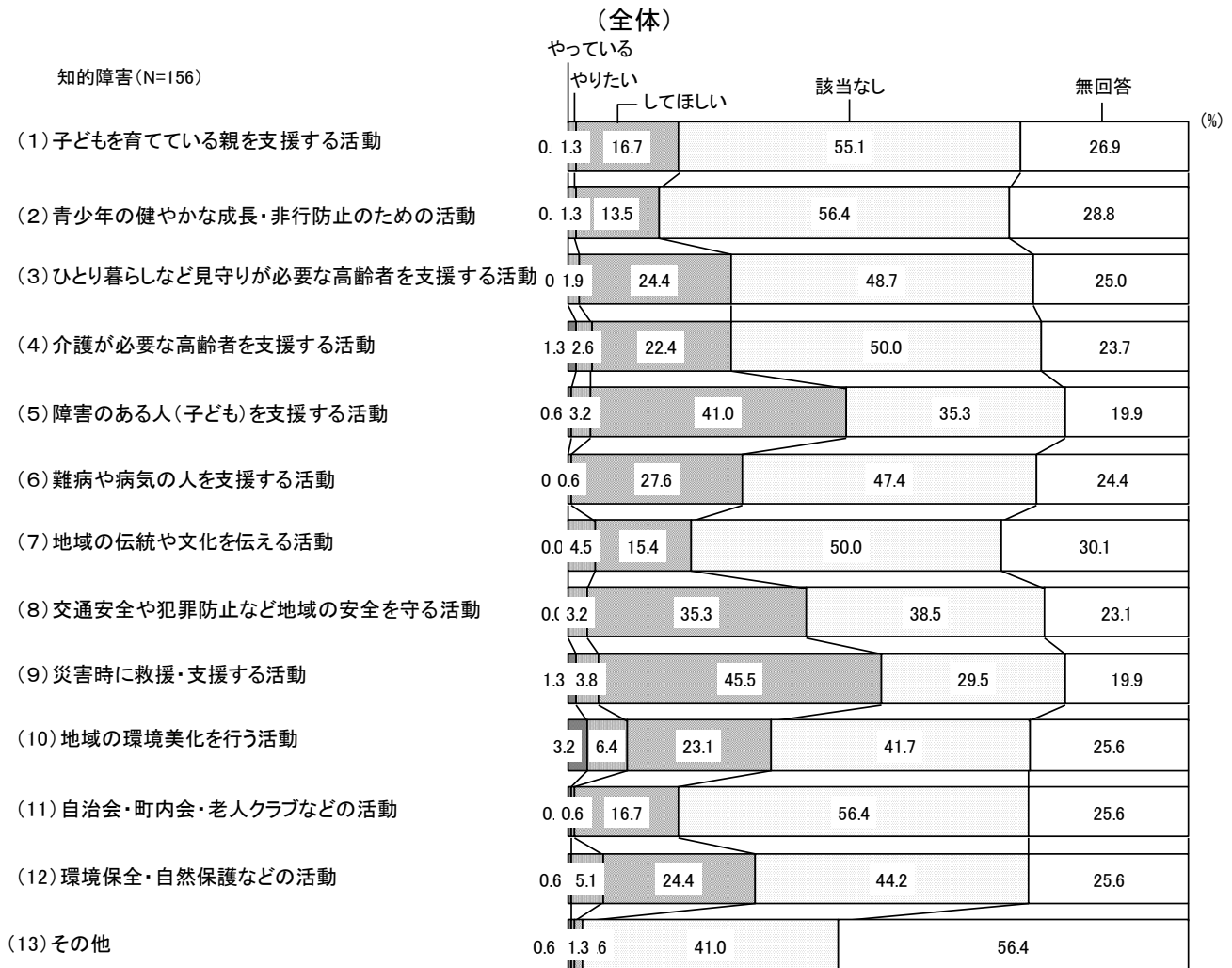
「してほしい活動」として最も多いのは、身体障害、知的障害、精神障害ともに『災害時に救援・支援する活動』であり、それぞれ33.4%、45.5%、45.8%である。

図表 3-57 地域活動・ボランティア活動の本人の状況と意向、要望【身体障害】
(全体)

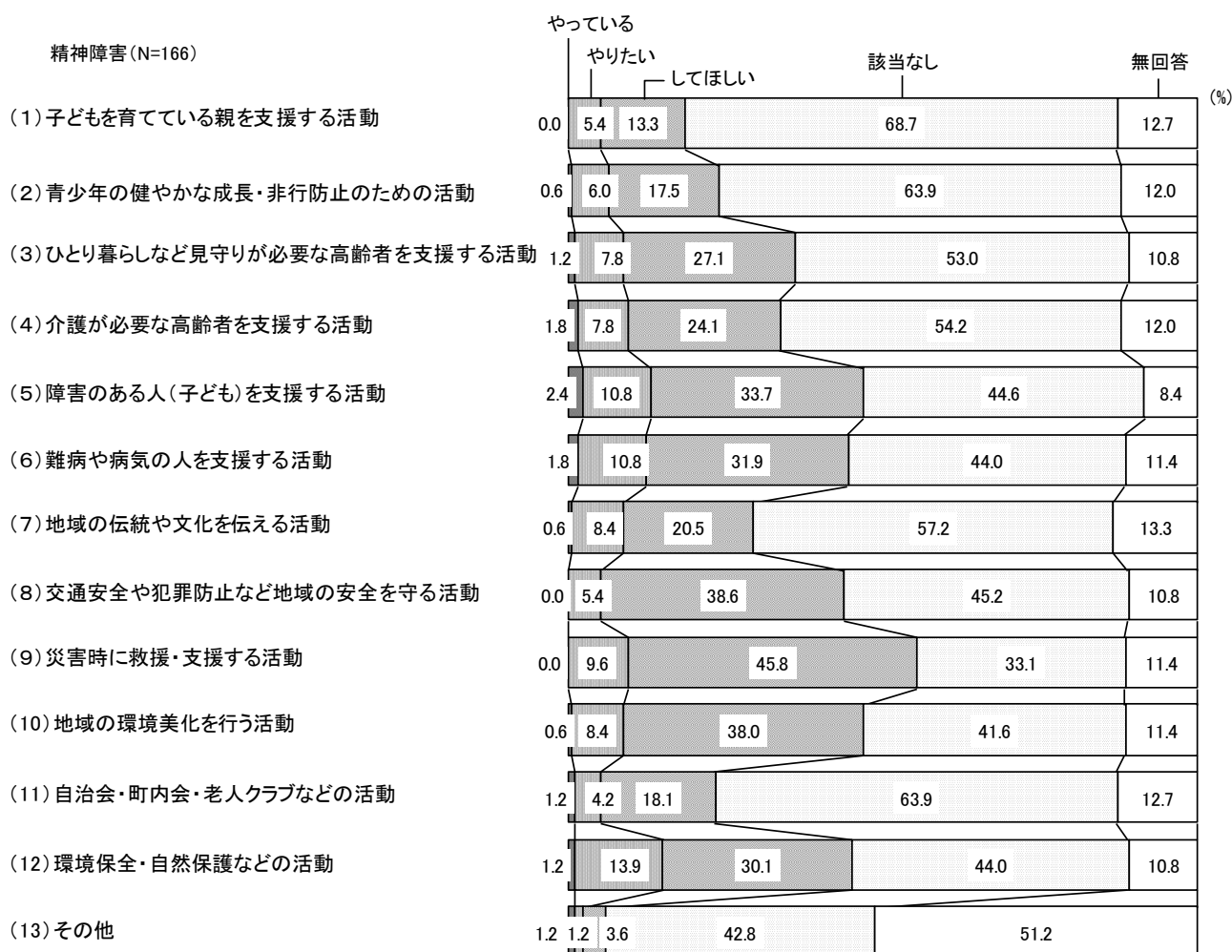


Ⅱ アンケート調査の結果

図表 3-58 地域活動・ボランティア活動の本人の状況と意向、要望【知的障害】



図表 3-59 地域活動・ボランティア活動の本人の状況と意向、要望【精神障害】
(全体)



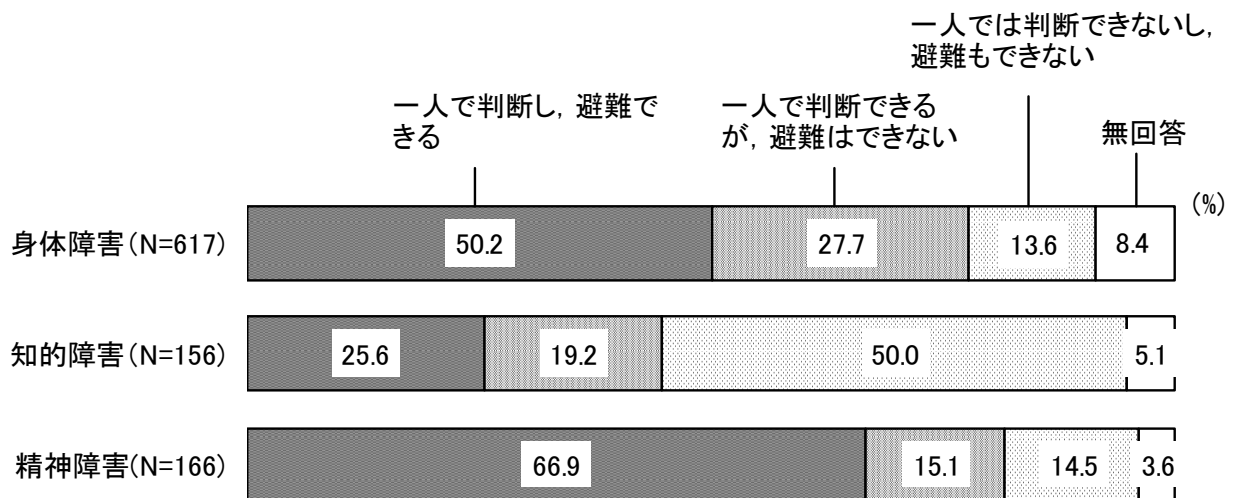
6 災害時の対応

(1) 緊急時に一人で避難すること（問 19）

問 19 あなた（あて名のご本人）は、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。（もっとも近いと思うもの1つに○）

災害や火災などの緊急時に一人で避難することができるかたずねたところ、「一人で判断できるが、避難はできない」と「一人では判断できないし、避難もできない」を合わせて《一人で避難できない》は、身体障害は41.3%、知的障害は69.2%、精神障害は29.6%となっている。

図表 3-60 緊急時に一人で避難すること（全体）



身体障害

緊急時に一人で避難することについては、全体では「一人で判断し、避難できる」が50.2%で最も多いが、「一人で判断できるが、避難はできない（27.7%）」と「一人では判断できないし、避難もできない（13.6%）」を合わせると41.3%が《一人で避難できない》との回答である。

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「一人で判断できるが、避難はできない（36.0%）」と「一人では判断できないし、避難もできない（9.6%）」を合わせると、《一人で避難できない》割合は45.6%となっている。

図表 3-61 緊急時に一人で避難すること【身体障害】

（全体、年齢別、年代別、家族構成別、居住地域別、障害の程度別）

		(%)	で一人 で判断 し、 避難	が一人 で判断 できる できない	いい一人 しでは 避難判 断でき ない	無 回 答
全 体 (N=617)			50.2	27.7	13.6	8.4
年 齢 別	10歳代 (n=2)		0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=6)		33.3	50.0	16.7	0.0
	30歳代 (n=14)		21.4	42.9	35.7	0.0
	40歳代 (n=27)		74.1	11.1	11.1	3.7
	50歳代 (n=44)		59.1	31.8	4.5	4.5
	60歳代 (n=130)		65.4	22.3	5.4	6.9
	70歳代 (n=184)		55.4	26.6	10.9	7.1
	80歳代以上 (n=175)		33.7	33.1	22.9	10.3
年 代 別	65歳未満 (n=151)		59.6	25.8	10.6	4.0
	65歳以上 (n=431)		48.0	29.0	14.4	8.6
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=125)		47.2	36.0	9.6	7.2
	その他 (n=477)		51.6	25.8	14.9	7.8
居 住 地 域 別	第1地域 (n=36)		44.4	30.6	19.4	5.6
	第2地域 (n=88)		46.6	31.8	18.2	3.4
	第3地域 (n=51)		47.1	35.3	11.8	5.9
	第4地域 (n=31)		54.8	25.8	6.5	12.9
	第5地域 (n=24)		62.5	25.0	4.2	8.3
	第6地域 (n=61)		59.0	23.0	8.2	9.8
	第7地域 (n=126)		54.8	25.4	13.5	6.3
	第8地域 (n=68)		50.0	23.5	14.7	11.8
	第9地域 (n=52)		46.2	36.5	11.5	5.8
	第10地域 (n=59)		47.5	25.4	18.6	8.5
障 害 の 程 度 別	1級 (n=202)		45.5	29.2	17.8	7.4
	2級 (n=71)		28.2	40.8	21.1	9.9
	3級 (n=92)		55.4	28.3	6.5	9.8
	4級 (n=157)		63.7	20.4	8.9	7.0
	5級 (n=24)		45.8	41.7	8.3	4.2
	6級 (n=29)		69.0	20.7	6.9	3.4

Ⅱ アンケート調査の結果

知的障害

緊急時に一人で避難することについては、全体では「一人では判断できないし、避難もできない（50.0%）」が最も多く、「一人で判断できるが、避難はできない（19.2%）」と合わせると69.2%が《一人で避難できない》との回答である。

障害の程度別でみると、2度では「一人では判断できないし、避難もできない」が85.7%となっている。また4度では「一人で判断し、避難できる」が40.7%となっている。

図表 3-62 緊急時に一人で避難すること【知的障害】

(全体、年齢別、年代別、家族構成別、居住地域別、障害の程度別)

			で一人 判断し 、 避難	が一人 で判 断で でき ない	いい一人 し人 で判 断で でき ない	無回 答
全 体		(N=156)	25.6	19.2	50.0	5.1
年 齢 別	10歳代	(n=5)	20.0	0.0	80.0	0.0
	20歳代	(n=49)	22.4	22.4	53.1	2.0
	30歳代	(n=43)	23.3	27.9	44.2	4.7
	40歳代	(n=33)	21.2	12.1	60.6	6.1
	50歳代	(n=9)	44.4	11.1	33.3	11.1
	60歳代	(n=9)	55.6	11.1	22.2	11.1
	70歳代	(n=3)	33.3	0.0	33.3	33.3
	80歳代以上	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満	(n=144)	25.7	20.1	50.0	4.2
	65歳以上	(n=7)	28.6	0.0	42.9	28.6
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n=11)	54.5	18.2	27.3	0.0
	その他	(n=143)	23.8	18.2	52.4	5.6
居 住 地 域 別	第1地域	(n=7)	14.3	28.6	57.1	0.0
	第2地域	(n=24)	37.5	12.5	37.5	12.5
	第3地域	(n=9)	22.2	33.3	44.4	0.0
	第4地域	(n=11)	9.1	27.3	54.5	9.1
	第5地域	(n=10)	20.0	0.0	80.0	0.0
	第6地域	(n=20)	50.0	5.0	45.0	0.0
	第7地域	(n=22)	13.6	31.8	45.5	9.1
	第8地域	(n=16)	31.3	18.8	50.0	0.0
	第9地域	(n=11)	9.1	27.3	63.6	0.0
	第10地域	(n=21)	19.0	19.0	52.4	9.5
障 害 別 の 程 度	1度	(n=5)	20.0	0.0	80.0	0.0
	2度	(n=35)	2.9	2.9	85.7	8.6
	3度	(n=44)	25.0	20.5	52.3	2.3
	4度	(n=59)	40.7	28.8	23.7	6.8

精神障害

緊急時に一人で避難することについては、全体では「一人で判断し、避難できる」が66.9%で最も多いが、「一人で判断できるが、避難はできない（14.5%）」と「一人では判断できないし、避難もできない（15.1%）」を合わせると29.6%が《一人で避難できない》との回答である。

年代別にみると、65歳未満では「一人で判断し、避難できる」が70.3%を占めているが、65歳以上では「一人では判断できないし、避難もできない」が31.3%となっている。

障害の程度別でみると、1級では「一人では判断できないし、避難もできない」が58.3%となっている。また2級と3級では「一人で判断し、避難できる」の割合が高くなっている。

図表 3-63 緊急時に一人で避難すること【精神障害】

（全体、年齢別、年代別、家族構成別、居住地域別、障害の程度別）

			で一人 で判断し 、避難	が一人 で判断は できない	いい一人 しでは 、避難判 断できな い	無 回 答
全 体		(N=166)	66.9	15.1	14.5	3.6
年 齢 別	10歳代	(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(n=9)	66.7	22.2	11.1	0.0
	30歳代	(n=44)	63.6	18.2	13.6	4.5
	40歳代	(n=51)	78.4	7.8	11.8	2.0
	50歳代	(n=29)	62.1	20.7	10.3	6.9
	60歳代	(n=21)	61.9	14.3	19.0	4.8
	70歳代	(n=5)	40.0	0.0	60.0	0.0
	80歳代以上	(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満	(n=145)	70.3	13.8	12.4	3.4
	65歳以上	(n=16)	37.5	25.0	31.3	6.3
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n=63)	65.1	14.3	15.9	4.8
	その他	(n=98)	68.4	15.3	13.3	3.1
居 住 地 域 別	第1地域	(n=8)	50.0	25.0	12.5	12.5
	第2地域	(n=34)	52.9	20.6	20.6	5.9
	第3地域	(n=14)	64.3	14.3	21.4	0.0
	第4地域	(n=4)	75.0	25.0	0.0	0.0
	第5地域	(n=7)	71.4	14.3	14.3	0.0
	第6地域	(n=16)	68.8	12.5	6.3	12.5
	第7地域	(n=26)	69.2	19.2	11.5	0.0
	第8地域	(n=18)	72.2	11.1	16.7	0.0
	第9地域	(n=13)	76.9	0.0	15.4	7.7
	第10地域	(n=17)	76.5	11.8	11.8	0.0
障 害 の 程 度 別	1級	(n=12)	25.0	16.7	58.3	0.0
	2級	(n=82)	64.6	19.5	12.2	3.7
	3級	(n=43)	83.7	9.3	4.7	2.3

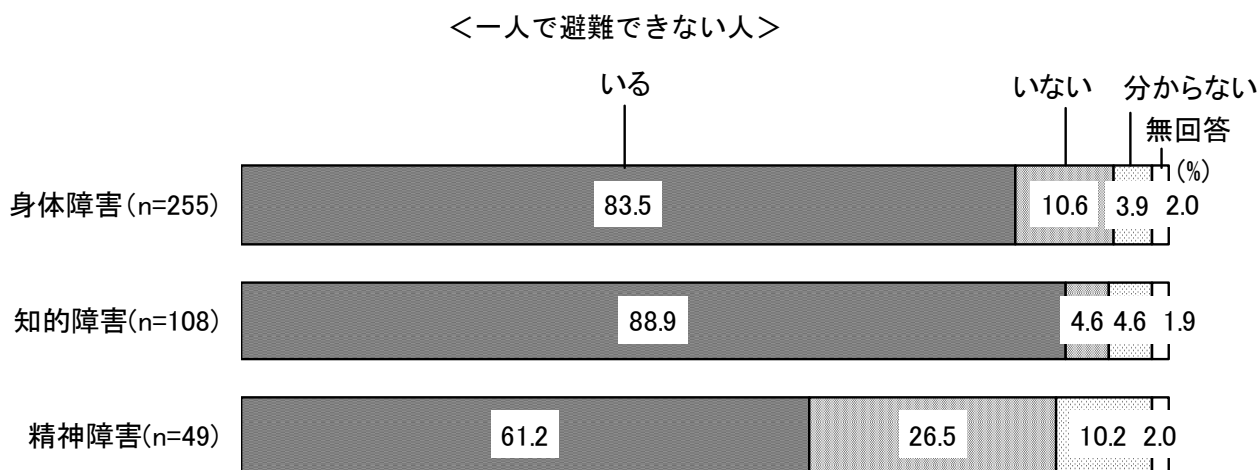
(2) 緊急時の避難の際、手助けを頼める人の有無（いる場合はだれか）（問 19-1）

問 19-1 問 19 で一人で避難できない方（2 または 3 に○）におたずねします。災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。（1 つに○）
 また、「1. いる」の場合は手助けを頼める人にあてはまるものに○をつけてください。（いくつでも○）

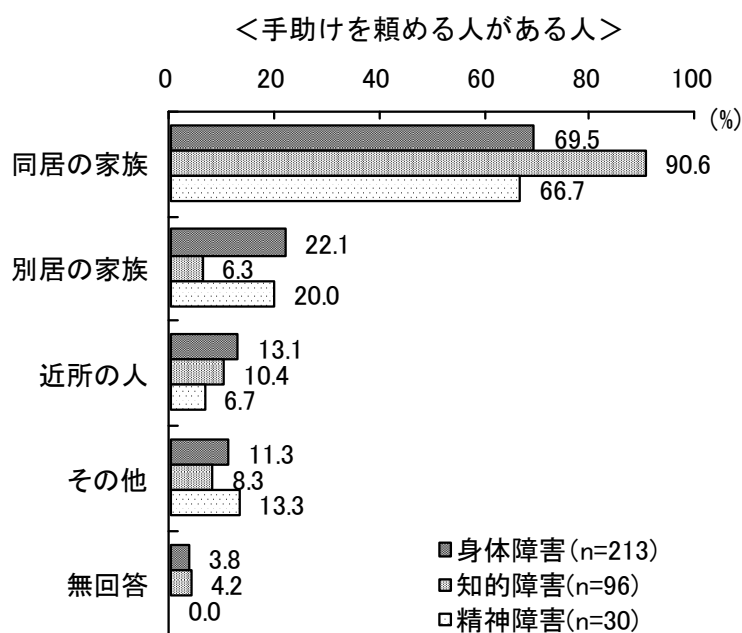
問 19 で緊急時に一人で避難ができないと回答した人に、手助けを頼める人がいるかをたずねたところ、身体障害、知的障害、精神障害いずれも「いる」がそれぞれ 83.5%、88.9%、61.2%である。

「いる」と回答した人に、手助けを頼める人をたずねたところ、いずれも「同居の家族」が最も多く、身体障害で 69.5%、知的障害で 90.6%、精神障害で 66.7%である。

図表 3-64 緊急時の避難の際、手助けを頼める人の有無（全体）



図表 3-65 緊急の避難の手助けを頼める人（全体：複数回答）

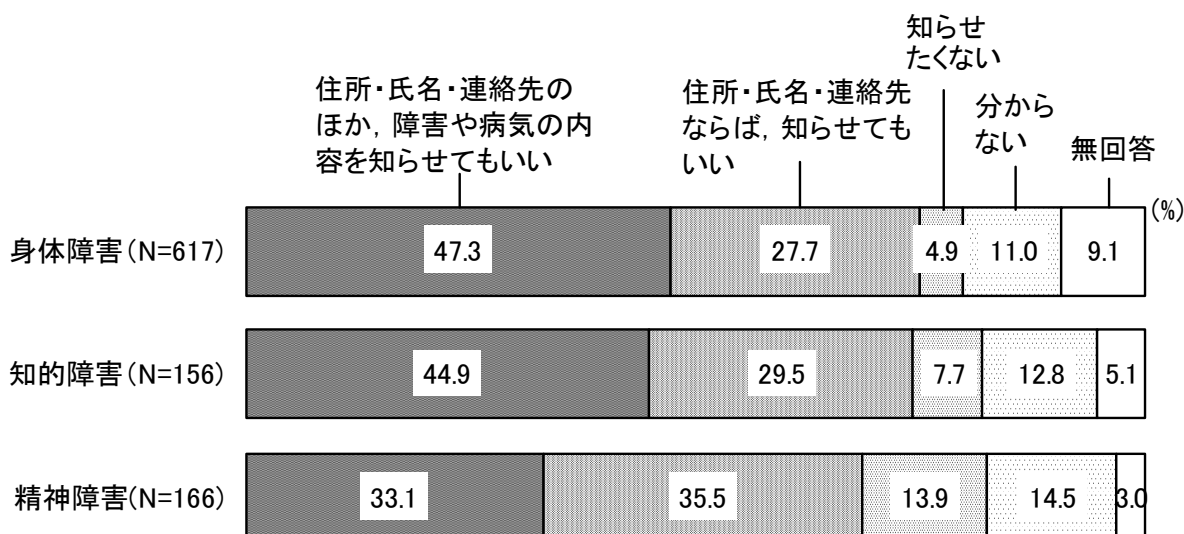


(3) 災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくこと（問20）

問20 あなたは、災害時に避難を助けたり、避難状況を確認するために、自治会、地区協議会、防災市民組織へ、住所・氏名・連絡先などの情報を事前に知らせておくことについて、どう思いますか。（1つに〇）

身体障害、知的障害では「住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい」が最も多く、それぞれ47.3%、44.9%であるが、精神障害では「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい（35.5%）」が最も多い。

図表 3-66 災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくこと（全体）



II アンケート調査の結果

身体障害

災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくことについては、全体では「住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい (47.3%)」が最も多く、「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい (27.7%)」が続いている。

障害の程度別にみると、6級では「知らせたくない」が20.7%で他の障害程度の方に比べ高い割合であり、障害程度によって考え方が異なる様子が見られる。また障害種類別では視覚障害の方「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい (42.3%)」が最も高い割合となっている。

災害時における一人での避難別にみると、避難できる方も避難できない方も「住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい」が最も多いが、避難できない方はその割合 (57.3%) が高く、避難できる方 (40.3%) に比べ17.0ポイント高くなっている。

図表 3-67 災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくこと【身体障害】

(全体、年齢別、年代別、障害の程度別、障害種類別、一人での避難別)

		(%)	い の 内 容 を 知 ら せ て も 気 先	い な ら ば ・ 氏 名 ・ 連 絡 先	知 ら せ た く な い	分 か ら な い	無 回 答
全 体 (N=617)		47.3	27.7	4.9	11.0	9.1	
年 齢 別	10歳代 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代 (n=6)	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	
	30歳代 (n=14)	85.7	7.1	0.0	7.1	0.0	
	40歳代 (n=27)	48.1	22.2	14.8	14.8	0.0	
	50歳代 (n=44)	54.5	29.5	4.5	4.5	6.8	
	60歳代 (n=130)	40.0	35.4	6.2	12.3	6.2	
	70歳代 (n=184)	51.1	23.9	5.4	10.3	9.2	
	80歳代以上 (n=175)	47.4	30.3	2.3	8.6	11.4	
年 代 別	65歳未満 (n=151)	54.3	25.2	6.6	8.6	5.3	
	65歳以上 (n=431)	47.1	29.0	4.4	10.2	9.3	
障 害 の 程 度 別	1 級 (n=202)	54.5	24.8	4.5	10.4	5.9	
	2 級 (n=71)	45.1	26.8	4.2	15.5	8.5	
	3 級 (n=92)	52.2	27.2	3.3	7.6	9.8	
	4 級 (n=157)	42.0	31.8	4.5	12.7	8.9	
	5 級 (n=24)	29.2	45.8	4.2	12.5	8.3	
	6 級 (n=29)	34.5	20.7	20.7	6.9	17.2	
障 害 種 類 別	視 覚 (n=26)	26.9	42.3	7.7	19.2	3.8	
	聴覚、平衡機能、音声・言語・そしゃく (n=65)	46.2	23.1	9.2	13.8	7.7	
	肢体不自由 (n=241)	48.5	26.6	4.6	11.6	8.7	
	内部障害 (n=195)	48.7	32.3	3.6	8.2	7.2	
	その他 (n=30)	46.7	30.0	10.0	3.3	10.0	
避 難 の 人 別	避難できる (n=310)	40.3	34.2	5.2	10.0	10.3	
	避難できない (n=255)	57.3	22.7	4.7	12.5	2.7	

知的障害

災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくことについては、全体では「住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい（44.9%）」が最も多く、「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい（29.5%）」が続いている。

災害時における一人での避難別にみると、避難できる方は「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい（45.0%）」が最も多く、避難できない方は「住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい（52.8%）」が最も多くなっている。

図表 3-68 災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくこと【知的障害】

（全体，年齢別，年代別，障害の程度別，障害種類別，一人での避難別）

		い の 住 い 内 容 を 知 ら せ て も 病 気 先	な 住 ら ば 氏 名 連 絡 先	知 ら せ た く な い	分 か ら な い	無 回 答
全 体 (N=156)		44.9	29.5	7.7	12.8	5.1
年 齢 別	10歳代 (n=5)	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=49)	57.1	28.6	4.1	10.2	0.0
	30歳代 (n=43)	53.5	23.3	9.3	4.7	9.3
	40歳代 (n=33)	27.3	36.4	6.1	21.2	9.1
	50歳代 (n=9)	33.3	22.2	22.2	22.2	0.0
	60歳代 (n=9)	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1
	70歳代 (n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=144)	45.1	29.9	8.3	11.8	4.9
	65歳以上 (n=7)	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3
居 住 地 域 別	第1地域 (n=7)	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0
	第2地域 (n=24)	33.3	37.5	16.7	12.5	0.0
	第3地域 (n=9)	44.4	22.2	0.0	22.2	11.1
	第4地域 (n=11)	45.5	18.2	9.1	18.2	9.1
	第5地域 (n=10)	10.0	40.0	0.0	50.0	0.0
	第6地域 (n=20)	35.0	40.0	5.0	10.0	10.0
	第7地域 (n=22)	50.0	22.7	13.6	4.5	9.1
	第8地域 (n=16)	62.5	31.3	0.0	6.3	0.0
	第9地域 (n=11)	63.6	27.3	0.0	9.1	0.0
	第10地域 (n=21)	47.6	28.6	9.5	4.8	9.5
障 害 別 の 程 度	1度 (n=5)	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	2度 (n=35)	57.1	14.3	5.7	11.4	11.4
	3度 (n=44)	50.0	29.5	9.1	9.1	2.3
	4度 (n=59)	40.7	35.6	8.5	11.9	3.4
別 避 難 の 人	避難できる (n=40)	25.0	45.0	12.5	15.0	2.5
	避難できない (n=108)	52.8	25.0	5.6	13.0	3.7

II アンケート調査の結果

精神障害

災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくことについては、全体では「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい (35.5%)」が最も多く、「住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい (33.1%)」が続いている。

年代別にみると、40歳代では「知らせたくない (25.5%)」が他の年代より高い割合となっている。

災害時における一人での避難別にみると、避難できる方は「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい (41.4%)」が最も多く、避難できない方は「住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい (42.9%)」が最も多くなっている。

図表 3-69 災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくこと【精神障害】

(全体, 年齢別, 年代別, 障害の程度別, 障害種類別, 一人での避難別)

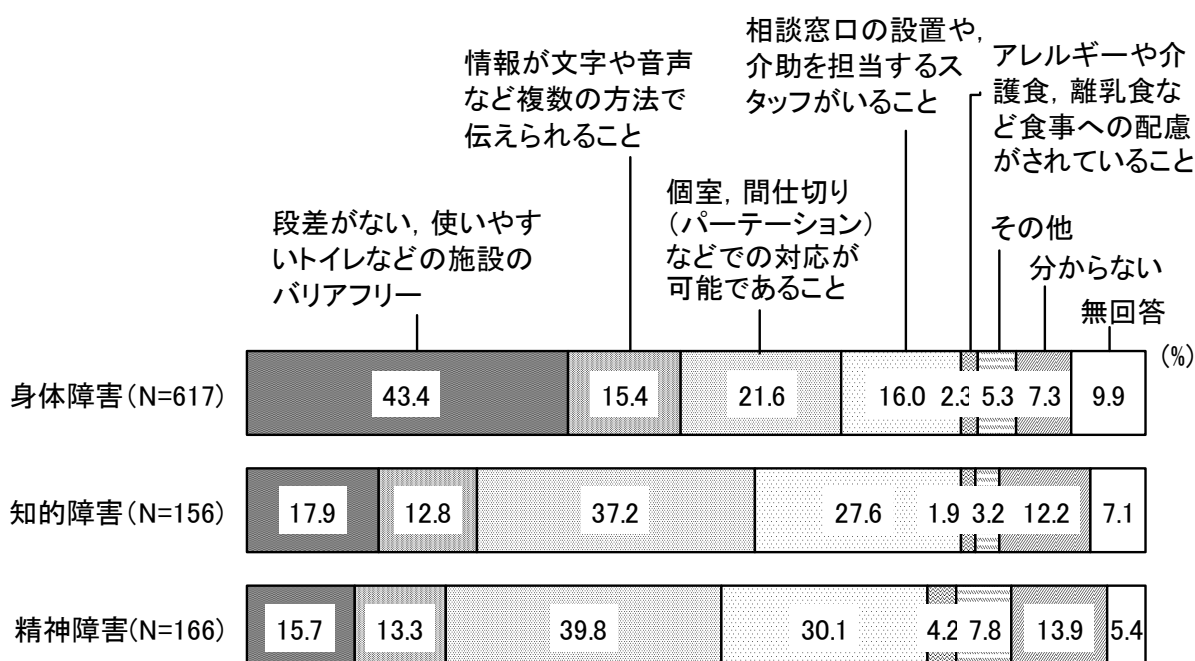
		(%)	い の 内 容 を 知 ら せ て も 気 先	い な 住 い ら 所 ば ・ 氏 知 名 ら ・ 連 絡 先	知 ら せ た く な い	分 か ら な い	無 回 答
全	体 (N=166)		33.1	35.5	13.9	14.5	3.0
年 齢 別	10歳代 (n=1)		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=9)		33.3	33.3	11.1	11.1	11.1
	30歳代 (n=44)		38.6	36.4	15.9	9.1	0.0
	40歳代 (n=51)		27.5	27.5	25.5	19.6	0.0
	50歳代 (n=29)		31.0	55.2	3.4	0.0	10.3
	60歳代 (n=21)		38.1	33.3	4.8	19.0	4.8
	70歳代 (n=5)		40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	80歳代以上 (n=1)		0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
別 年 代	65歳未満 (n=145)		31.0	37.9	15.2	12.4	3.4
	65歳以上 (n=16)		50.0	18.8	6.3	25.0	0.0
居 住 地 域 別	第1地域 (n=8)		25.0	25.0	25.0	12.5	12.5
	第2地域 (n=34)		32.4	32.4	8.8	20.6	5.9
	第3地域 (n=14)		57.1	28.6	7.1	7.1	0.0
	第4地域 (n=4)		25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	第5地域 (n=7)		42.9	42.9	0.0	14.3	0.0
	第6地域 (n=16)		50.0	25.0	6.3	18.8	0.0
	第7地域 (n=26)		23.1	38.5	19.2	19.2	0.0
	第8地域 (n=18)		27.8	38.9	16.7	11.1	5.6
	第9地域 (n=13)		38.5	38.5	15.4	7.7	0.0
	第10地域 (n=17)		23.5	47.1	17.6	5.9	5.9
程 度 別 の 障 害	1級 (n=12)		41.7	25.0	0.0	33.3	0.0
	2級 (n=82)		32.9	34.1	13.4	15.9	3.7
	3級 (n=43)		27.9	46.5	16.3	9.3	0.0
別 避 で 一 人 の 人	避難できる (n=111)		27.9	41.4	17.1	10.8	2.7
	避難はできない (n=49)		42.9	26.5	6.1	22.4	2.0

(4) 避難所で配慮してほしいこと（問21）

問21 あなたは、災害時の避難所でどのようなことに配慮してほしいと思いますか。
（1つに○）

身体障害では「段差がない、使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー（43.4%）」が最も多い。知的障害、精神障害では「個室、間仕切り（パーテーション）などでの対応が可能であること」が最も多く、それぞれ37.2%、39.8%となっている。

図表 3-70 避難所で配慮してほしいこと（全体）



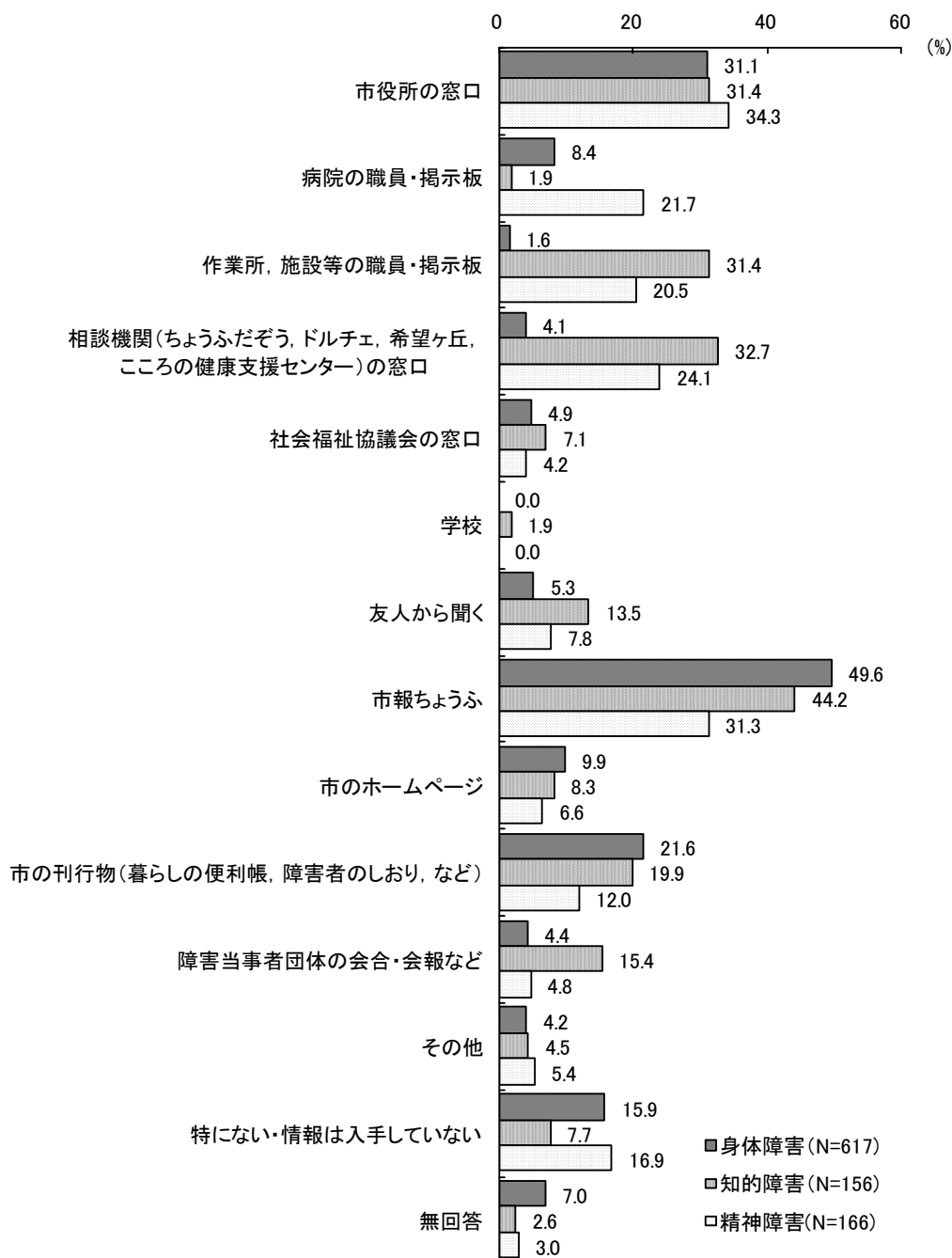
7 調布市の障害者保健福祉施策

(1) 調布市の障害者保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手経路（問 22）

問 22 あなた（あて名のご本人）は、調布市の障害者福祉施策（サービス）に関する情報をどこから入手していますか。（いくつでも○）

身体障害、知的障害は「市報ちょうふ」が最も多くそれぞれ 49.6%、44.2%となっている。精神障害では、「市役所の窓口（34.3%）」が最も多い。

図表 3-71 調布市の障害者保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手経路
（全体：複数回答）

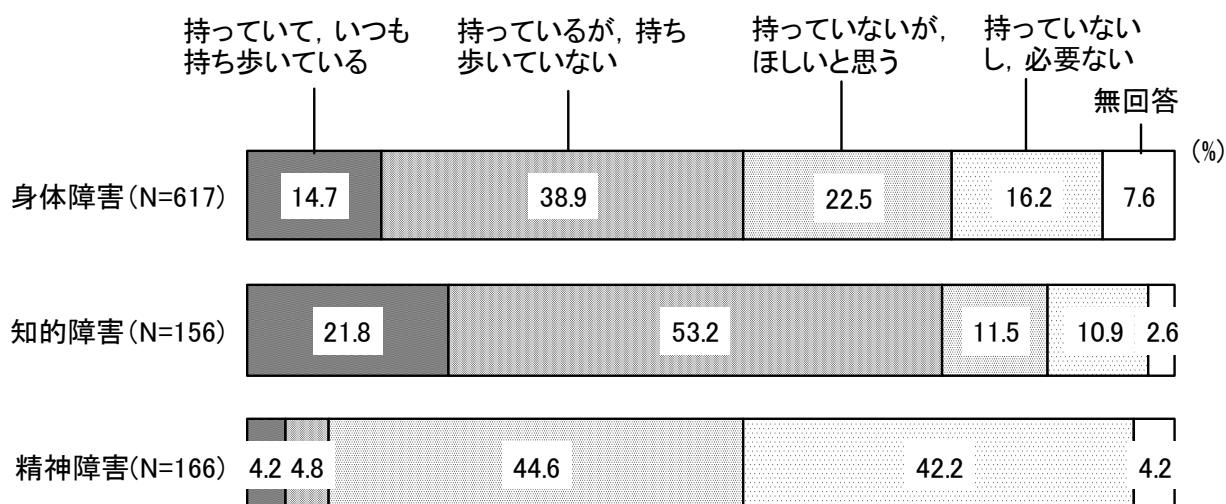


(2) ヘルプカードの所持について（問23）

問23 あなたは、調布市が平成25年8月より配布しているヘルプカードを持っていますか
（1つに○）

身体障害、知的障害は「持っているが、持ち歩いていない」が最も多く、38.9%、53.2%となっている。精神障害は「持っていないが、ほしいと思う（44.6%）」が最も多く、「持っていないし、必要ない（42.2%）」が続いている。

図表 3-72 ヘルプカードの所持について（全体）



Ⅱ アンケート調査の結果

身体障害

ヘルプカードの所持については、全体では「持っているが、持ち歩いていない(38.9%)」が最も多く、「持っていないが、ほしいと思う(22.5%)」が続いている。障害の程度別にみると、3級では「持っていないが、ほしいと思う」が30.4%と、他の等級に比べ高くなっている。また、6級では「持っているが、持ち歩いていない」が51.7%とおよそ半数を占めている。

災害時における一人での避難別にみると、避難できる方も避難できない方も「持っているが、持ち歩いていない」が最も多く、それぞれ38.7%、42.4%となっている。

図表 3-73 ヘルプカードの所持について【身体障害】

(全体、年齢別、年代別、家族構成別、障害の程度別、一人での避難別)

		持 ち つ 歩 い て い る い つ も	歩 持 い つ て い い な が 、 持 ち	し 持 い つ と て い い な い が 、 ほ	要 持 な い て い な い し 、 必	無 回 答
全 体 (N=617)		14.7	38.9	22.5	16.2	7.6
年 齢 別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=6)	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
	30歳代 (n=14)	28.6	64.3	7.1	0.0	0.0
	40歳代 (n=27)	14.8	40.7	7.4	33.3	3.7
	50歳代 (n=44)	9.1	52.3	18.2	15.9	4.5
	60歳代 (n=130)	14.6	40.0	20.0	20.0	5.4
	70歳代 (n=184)	14.1	44.0	23.9	12.5	5.4
	80歳代以上 (n=175)	16.6	29.1	25.7	16.0	12.6
年 代 別	65歳未満 (n=151)	10.6	48.3	18.5	17.9	4.6
	65歳以上 (n=431)	16.2	36.4	23.7	15.5	8.1
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=125)	17.6	34.4	24.8	18.4	4.8
	その他 (n=477)	14.0	40.0	22.2	16.1	7.5
障 害 の 程 度 別	1級 (n=202)	14.9	36.1	23.8	15.3	9.9
	2級 (n=71)	8.5	49.3	14.1	21.1	7.0
	3級 (n=92)	13.0	38.0	30.4	10.9	7.6
	4級 (n=157)	16.6	35.0	24.2	19.7	4.5
	5級 (n=24)	33.3	33.3	12.5	20.8	0.0
	6級 (n=29)	10.3	51.7	13.8	20.7	3.4
一 人 で の 避 難 別	避難できる (n=310)	15.2	38.7	21.3	19.0	5.8
	避難できない (n=255)	13.3	42.4	24.7	14.5	5.1

知的障害

ヘルプカードの所持については、全体では「持っているが、持ち歩いていない（53.2%）」が半数を超え最も多く、「持っている、いつも持ち歩いている（21.8%）」が続いている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「持っている、いつも持ち歩いている」が45.5%と高い割合になっている。

障害の程度別にみると、2度の方で「持っているが、持ち歩いていない」が68.6%と他の等級に比べ高い割合となっている。

災害時における一人での避難別にみると、避難できる方も避難できない方も「持っているが、持ち歩いていない」が最も多く、それぞれ37.5%、59.3%となっている。また、避難できる方は「持っていないし、必要ない」が30.0%と、避難できない方の4.6%に比べると25.4ポイント上回っている。

図表 3-74 ヘルプカードの所持について【知的障害】

（全体、年齢別、年代別、家族構成別、障害の程度別、一人での避難別）

		持 ち つ い て い る い つ も	歩 い つ て い い な い が 、 持 ち	し 持 い つ と 思 い な い が 、 ほ	要 持 な つ て い な い し 、 必	無 回 答
全 体 (N=156)		21.8	53.2	11.5	10.9	2.6
年 齢 別	10歳代 (n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=49)	16.3	61.2	12.2	10.2	0.0
	30歳代 (n=43)	23.3	51.2	11.6	9.3	4.7
	40歳代 (n=33)	12.1	57.6	12.1	15.2	3.0
	50歳代 (n=9)	55.6	22.2	11.1	11.1	0.0
	60歳代 (n=9)	44.4	22.2	22.2	0.0	11.1
	70歳代 (n=3)	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=144)	21.5	53.5	11.8	10.4	2.8
	65歳以上 (n=7)	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=11)	45.5	18.2	9.1	18.2	9.1
	その他 (n=143)	19.6	55.9	11.9	10.5	2.1
障 害 の 程 度 別	1度 (n=5)	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	2度 (n=35)	14.3	68.6	8.6	2.9	5.7
	3度 (n=44)	27.3	50.0	11.4	11.4	0.0
	4度 (n=59)	20.3	52.5	11.9	13.6	1.7
一 人 で の 避 難 別	避難できる (n=40)	17.5	37.5	12.5	30.0	2.5
	避難できない (n=108)	24.1	59.3	10.2	4.6	1.9

Ⅱ アンケート調査の結果

精神障害

ヘルプカードの所持については、全体では「持っていないが、ほしいと思う（44.6%）」が最も多く、「持っていないし、必要ない（42.2%）」が続いている。年代別にみると、65歳以上では「持っていないが、ほしいと思う」が75.0%と、高い割合となっている。

障害の程度別にみると、1級では「持っていないが、ほしいと思う」が66.7%と高い割合となっている。

図表 3-75 ヘルプカードの所持について【精神障害】

（全体、年齢別、年代別、家族構成別、障害の程度別、一人での避難別）

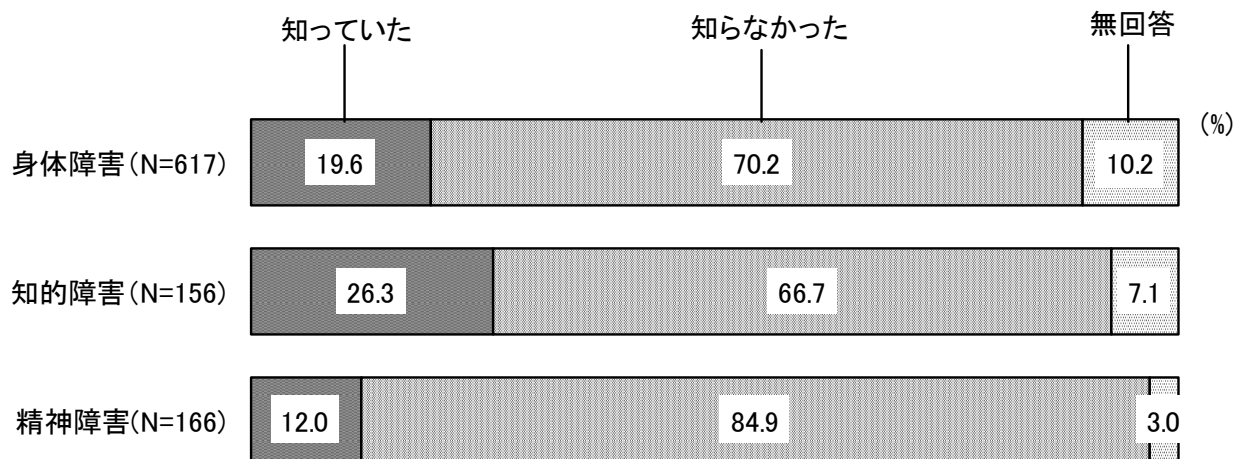
			持 ち つ 歩 て い て い る い つ も	歩 持 い つ て い い な い が 、 持 ち	し 持 い つ と て 思 い な い が 、 ほ	要 持 な い て い な い し 、 必	無 回 答
全 体 (N=166)			4.2	4.8	44.6	42.2	4.2
年 齢 別	10歳代 (n=1)		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=9)		0.0	0.0	44.4	44.4	11.1
	30歳代 (n=44)		9.1	4.5	38.6	47.7	0.0
	40歳代 (n=51)		2.0	5.9	47.1	43.1	2.0
	50歳代 (n=29)		6.9	3.4	37.9	44.8	6.9
	60歳代 (n=21)		0.0	4.8	52.4	33.3	9.5
	70歳代 (n=5)		0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	80歳代以上 (n=1)		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=145)		4.8	4.1	41.4	45.5	4.1
	65歳以上 (n=16)		0.0	6.3	75.0	18.8	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=63)		1.6	3.2	52.4	36.5	6.3
	その他 (n=98)		5.1	5.1	40.8	46.9	2.0
障 害 の 程 度 別	1級 (n=12)		0.0	8.3	66.7	16.7	8.3
	2級 (n=82)		4.9	4.9	42.7	43.9	3.7
	3級 (n=43)		2.3	2.3	46.5	48.8	0.0
一 人 で の 避 難 別	避難できる (n=111)		2.7	5.4	38.7	49.5	3.6
	避難はできない (n=49)		8.2	4.1	53.1	30.6	4.1

(3) 障害者虐待防止法の認知状況（問 24）

問 24 あなたは、平成 24 年 10 月から「障害者虐待防止法」が施行されたことを、知っていましたか。（1つに○）

障害者虐待防止法の認知については、身体障害、知的障害、精神障害ともに「知らなかった」がそれぞれ 70.2%、66.7%、84.9%となっている。

図表 3-76 障害者虐待防止法の認知状況（全体）

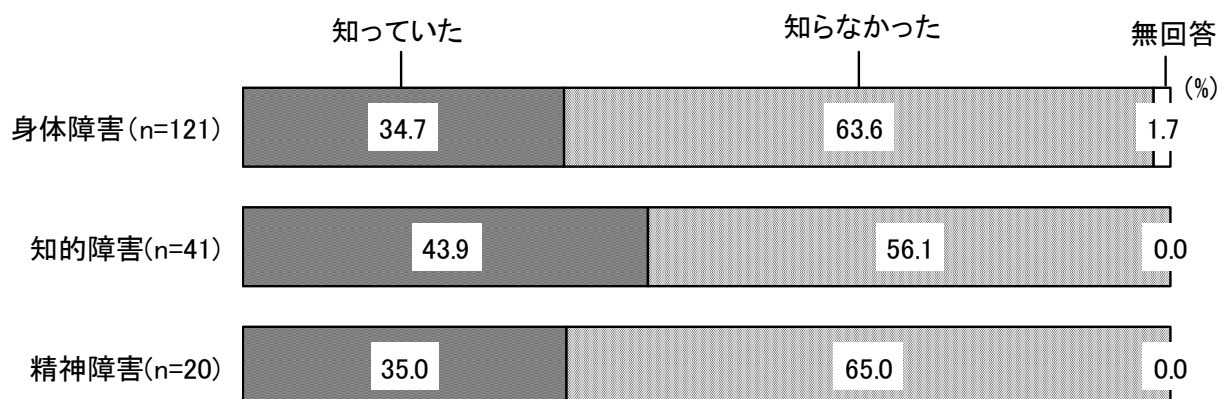


(4) 通報窓口としての障害者虐待防止センターの認知（問 24-1）

問 24-1 問 24 で「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。調布市では障害福祉課が「障害者虐待防止センター」として、障害者虐待の通報窓口となっていることを知っていましたか。（1つに○）

障害者虐待防止法を「知っていた」と回答した人に、通報窓口としての障害者虐待防止センターの認知をたずねたところ、いずれも「知らなかった」が「知っていた」を上回っている。

図表 3-77 通報窓口としての障害者虐待防止センターの認知
 <障害者虐待防止法を知っていた人>



(5) 市の相談窓口の認知状況（問 25）

問 25 あなたは、次の調布市の相談窓口などを知っていますか。

((1)～(5)それぞれ1つに○)

調布市の相談窓口の認知状況を5つの窓口についてたずねた。

『障害者地域自立支援協議会』、『ドルチェ』、『希望ヶ丘』は、身体障害、知的障害、精神障害いずれも「知らない」が6割以上で「知っている」を上回っている。

『ちょうふだぞう』は、知的障害は「知っている」が75.0%だが、身体障害、精神障害は「知らない」が約6割となっている。

『こころの健康支援センター』は、身体障害、知的障害は「知らない」が「知っている」を大きく上回っているが、精神障害は「知っている(46.4%)」と「知らない(47.6%)」にほぼ二分されている。